

# 2017年度 つばさ正会員募集のお知らせ

—2016年度のご報告、2017年度の予定と応募要項

つばさは5月締め、6月新年度開始ですので、6月から正会員を募集開始しております。

つばさの事業目標は、○各地での治療情報提供フォーラムの開催、○Newsletter ひろばの発行、○電話相談センターの運営、ですが、いずれもたくさんの支援をいただきながら事業展開できましたことをご報告いたします。これらの活動を通して2016年は

○長期闘病となった血液疾患の患者さんにとって、地域医療との関係が非常にたいせつなポイントであること

- 1) 基礎疾患に血液がんや小児血液腫瘍があっても通えるクリニックがある
- 2) 自宅での化学療法の為に訪問医療を行い、同時に近隣の医療機関でも診てもらえるよう支援する医療がある
- 3) ただし1も2も、「輸血」は仕組みそのものがとても大きなネックであること
- 4) 血液がんも小児血液腫瘍も疾患を治療完了できるようになった。しかし後からゆっくり心身の障害が出てくることがある。それを「活発に」皆で声にすること、社会に対応を求めることは非常にたいせつ。

などに気づきました。ただともかく、関係の皆さまが頑張っておられますので、つばさは大いにこの医療活動に関心を持ち、情報発信をすることで益々の発展に寄与する方向です。

そして2017年は、電話相談でも多い‘急性期の病院と慢性期の病院の違いやその受診の仕方、選び方等’も考えます。

- ・急性期の施設（治験やいわゆる先進医療を行う、大学病院や大医療センター）
- ・慢性期の病院（治験等は行わない、総合病院）での医療の違い、その選び方

多くの血液がんの治療開始は、大学病院や大基幹病院で開始します。そしてほとんどの人はそのままその施設で闘病を継続しますが、これという治療法が提示されないが継続して通院や輸血が必要な（たとえば、骨髄異形成症候群の）高齢の患者さんでは、自宅から遠く離れた大基幹病院に通院するメリットよりも、自宅近くの慢性期の病院への転院を奨められる事があります。しかし患者さんと家族にとってそれは、理解しにくいために戸惑いが大きい、不安の多い推奨となります。

前述の2016年に出会った1)、2)、3)、4)の気づきと共に、どのような医療機関で治療を継続することが長期の闘病にとって心穏やかなのか、2017年は皆さんと共に考えていきたいと思えます。

つばさは今年度も、Newsletter ひろばの発行、各地でのフォーラム、相談対応もこれまで通りに運営していく所存です。何卒宜しくお願い致します。

## つばさの正会員

会費 1万円

- 総会に出席し事業計画について発言する権利を有します
- 総会は、今期は Newsletter ひろばの発行が8月の予定のため、8月下旬の予定
- 総会では事業計画と予算、事業報告が提出されます
- 正会員で総会欠席者には、総会で承認された事業計画と予算が送られます

郵便振替口座：00190-6-370078 加入者名 特定非営利活動法人 血液情報広場・つばさ  
銀行口座：東京三菱UFJ銀行 市川駅前支店 普通 3812109（トクテイヒエイリ ケツエキ ツバサ）※お名前とご連絡先が明記される郵便振替が助かりますが、再登録いただく方は銀行振り込み後にご連絡ください。

### ○郵便口座振込の場合

- ・正会員登録完了通知書をお送りします。通知書の発行をもって会員手続き完了となります。

### ○銀行口座振込の場合

- ・お名前・ご住所・連絡先お電話番号をメールまたはFAXでつばさ事務局までお知らせください。正会員登録完了通知書をお送りします。通知書の発行をもって会員手続き完了となります。

### お申込み・お問い合わせ先

特定非営利活動法人血液情報広場・つばさ

〒162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻町533 早稲田大学前郵便局々留

[staff@tsubasa-npo.org](mailto:staff@tsubasa-npo.org) 03-3207-8503（月～金 12時～17時） 03-3203-2570（Fax）